

領域プロジェクト名称	海洋オペレーション計画のための海象指標の策定
担当教員	尾崎 雅彦
プロジェクトの狙い	日本周辺の排他的経済水域における海洋資源エネルギー開発への関心が高まっている。海洋での生産活動や輸送活動のためのインフラ設計では、台風など異常時の安全性確保の観点で海象の極値統計予測などが行われるが、稼働時のシステム能力のデザインに海象の経時的特性が十分に考慮されることは少ないのが現状である。そこで、日本周辺の長期の海象時刻歴データ（風・波浪）を用いて、海洋オペレーションシステムの初期デザインの段階で簡便に用いることのできる海象指標の策定に挑戦してもらう。
プロジェクトの内容	(1) 海象時刻歴データに関する知識習得 (2) 連続稼働日数確保が重要な海洋オペレーション計画のための指標の検討 (3) 連続不稼働日数がシステムのキャパシティに影響を及ぼす海洋オペレーション計画のための指標の検討 (4) 日本周辺海域のデータ分析による指標のマッピング
プロジェクト開催場所	本郷キャンパス工学部 3 号館 311 室 もしくは 柏キャンパス 基盤棟 6H8 室
プロジェクト計画	4 月；種々の海洋オペレーションシステムの調査 オペレーションに対する海象の閾値の調査 代表的少数地点の海象時刻歴データを用いた分析試行 5 月；海象時刻歴データの分析と指標の検討 6 月；日本周辺海域における指標のマッピング 資源賦存ポテンシャルマップとの照合
ホームページ	http://aquacage3.k.u-tokyo.ac.jp/index.html